

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
雲仙市小浜町	富津地区	令和3年3月15日	平成31年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	39ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	17ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	17ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・本地域の主な産業が漁業であり、中心経営体になりうるほど農業を営んでいる者がいない。そのため、外部から担い手を探す必要がある。しかし、道がないため、機械等が入って行けず借り手も見つからない現状である。(利用したい人がいれば利用させたい。) ・本地区の農地のほとんどが山林化している。実際に農地として機能するのは9haほどである。 ・所有者が地元から離れてしまっている土地が多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中心経営体となりうる農業者がいないため、農地中間管理事業を活用し、外部から担い手を探す。
--

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向			備考
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲	
計	0経営体		0 ha		0 ha		

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>○農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、80筆、16,526㎡となっている。</p>
<p>○農地中間管理機構の活用方針 農地所有者は、出し手・受け手にかかわらず、原則として、農地を機構に貸し付けていく。 中心経営体が病気や怪我等の事情で営農の継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。</p>
<p>○基盤整備への取組方針 耕作者を見つけるためにも道の整備が必要。狭地直しまでできれば尚のこと良い。</p>
<p>○鳥獣被害防止対策の取組方針 防護柵を設置済み。管理を徹底していく。</p>